

第2学年2組 算数科学習指導案

指導者

1 単元 新しい九九の作り方をかんがえよう 【かけ算（2）】

2 目標

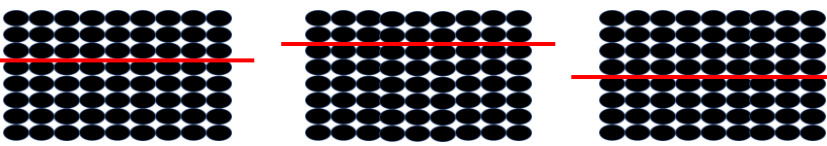
- かけ算の性質を理解し、6から9の段の九九を正しく唱えることができるようにする。
- 数量の関係に着目し、かけ算の性質を使って、6から9の段の構成を考えるようにする。
- かけ算の性質を用いるよさに気づき、九九を生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

3 単元計画（15時間）

配時	学習活動・【自己選択・決定を伴うつなぐ活動】	手立て
1/15	1 既習の段までの九九表をつくる。 ○ 既習の段の九九表を基に「〇〇作戦」を確認する。【既】 たしたし 作戦 (同数累加) とびとび 作戦 (2・5) まえたし 作戦 (積の増え方) いれかえ 作戦 (交換法則) わけたし 作戦 (分配法則)	○ 6から9の段の新しい九九表をつくろうと見通しをもつために、既習の九九の段を埋めながら、「〇〇作戦」を確認する場を設定する。
2/15	2 6、7、8、9の段の九九を構成し、唱え方を覚える。 ○ 6の段の九九を構成し、唱え方を覚える。【他】【場】【自】 ・かけ算の性質を選択・決定して、6の段の九九を構成する。 まえたし作戦 (積の増え方) いれかえ作戦 (交換法則) わけたし作戦 (分配法則)	○ 新しい九九（6の段）をつくるために、かけ算の性質（積の増え方や交換法則等）を用いて、他者と協働しながら解決する場を設定する。
3/15 4/15	・6の段の九九の唱え方を知り、覚える。 ○ 7の段の九九を構成し、唱え方を覚える。【他】【場】【自】 ・かけ算の性質を選択・決定して、7の段の九九を構成する。	○ 新しい九九（7の段）をつくるために、かけ算の性質（積の増え方、交換法則、分配法則等）を用いて、他者と協働しながら解決する場を設定する。
5/15	まえたし作戦 (積の増え方) いれかえ作戦 (交換法則) わけたし作戦 (分配法則)	
6/15 7/15	・7の段の九九の唱え方を知り、覚える。	
8/15 本時	○ 8の段の九九を構成し、唱え方を覚える。【他】【場】【自】 ・かけ算の性質を選択・決定して、8の段の九九を構成する。 まえたし作戦 (積の増え方) いれかえ作戦 (交換法則) わけたし作戦 (分配法則)	○ 新しい九九（8の段）をつくるために、ICTを活用した既習のログ（積の増え方、交換法則、分配法則）を見ながら解決する場を設定する。
9/15 10/15	・8の段の九九の唱え方を知り、覚える。	
11/15	○ 9の段の九九を構成し、唱え方を覚える。【他】【場】【自】 ・かけ算の性質を選択・決定して、9の段の九九を構成する。 まえたし作戦 (積の増え方) いれかえ作戦 (交換法則) わけたし作戦 (分配法則)	○ 新しい九九（9の段）をつくるために、かけ算の性質（積の増え方、交換法則、分配法則）を自己選択・決定して解決する場を設定する。
12/15 13/15	・9の段の九九の唱え方を知り、覚える。	
14/15	3 6から9の段までの九九表を完成させて、まとめる。 ○ 身に付けたかけ算の性質を振り返る。 ・九九をつくるのに、わたしは〇〇作戦が一番よかった。 ・〇〇作戦と〇〇作戦を組み合わせると簡単にできた。	○ 完成した九九表からかけ算のきまりを見つけるために、今までに選択した作戦を振り返る場を設定する。
15/15	○ 「虫食い九九表」をはやく完成させる。	

- 4 主眼 8 ずつ増える数量関係に着目し、8 の段の九九をつくる方法について話し合うことで、積の増え方が一定であるなどのかけ算の性質（きまり）を用いて、8 の段の九九を構成できるようにする。

5 本時過程 **自己選択・自己決定の場**

段階	学習活動・予想される児童の反応	手立て(○)と評価(◇)	配時
導入	1 前時までの学習を想起し、本時のめあてをつかむ。 ○ これまでの九九のつくり方を想起する。 ・ たしたし作戦（同数累加） ・ まえたし作戦（積の増え方） ・ いれかえ作戦（交換法則） ・ わけたし作戦（分配法則） 8 の段のつくり方を考えよう。	○ 本時、選択する作戦を決定するために、前時の振り返りを確認する場を設定する。 【既有】	2
	2 8 の段のつくり方を考える。 (1) 既習のログを想起して、本時の見通しを立てる。 ・ たしたし作戦はめんどうだ。・ まえたし作戦がかんたんそう。 ・ いれかえ作戦でやってみる。・ わけたし作戦にもチャレンジしよう。 ○ 8 の段の九九を、既習学習をもとに考える。 【まえたし作戦】 (積の増え方) $8 \times 1 = 8$ $8 \times 2 = 8 + 8 = 16$ $8 \times 3 = 16 + 8 = 24$ $8 \times 4 = 24 + 8 = 32$ $8 \times 5 = 32 + 8 = 40$ $8 \times 6 = 40 + 8 = 48$ $8 \times 7 = 48 + 8 = 56$ $8 \times 8 = 56 + 8 = 64$ $8 \times 9 = 64 + 8 = 72$ 【いれかえ作戦】 (交換法則) $8 \times 1 = 8$ $8 \times 2 = 2 \times 8 = 16$ $8 \times 3 = 3 \times 8 = 24$ $8 \times 4 = 4 \times 8 = 32$ $8 \times 5 = 5 \times 8 = 40$ $8 \times 6 = 6 \times 8 = 48$ $8 \times 7 = 7 \times 8 = 56$ 【わけたし作戦】 (分配法則) $8 \times 1 = 3 \times 1 + 5 \times 1 = 8$ $8 \times 2 = 3 \times 2 + 5 \times 2 = 16$ $8 \times 3 = 3 \times 3 + 5 \times 3 = 24$ $8 \times 4 = 3 \times 4 + 5 \times 4 = 32$ $8 \times 5 = 3 \times 5 + 5 \times 5 = 40$ $8 \times 6 = 3 \times 6 + 5 \times 6 = 48$ $8 \times 7 = 3 \times 7 + 5 \times 7 = 56$ $8 \times 8 = 3 \times 8 + 5 \times 8 = 64$ $8 \times 9 = 3 \times 9 + 5 \times 9 = 72$ ↓ 【まえたし作戦】	○ 自分の作戦を自己選択・決定するために、既習で用いた作戦をログで確認する場を設定する。 【既有】(ICT) ○ 自分の選択・決定した作戦で8 の段の九九表を完成するために、ノートやタブレットといった学習具を選択する場を設定する。 【場面】	3
	(2) 8 の段の九九のつくり方を、交流する。 ・ 8 の段でも 【まえたし作戦】 は、簡単に使えた。 ・ 8 の段の 【いれかえ作戦】 は、 8×7 まで使えた。 ・ 8 の段の 【わけたし作戦】 には、いろいろな分け方がある。 	○ 多様な考え(作戦)のよさを確認するために、板書で交流する。 【他者】 ◇ 8 の段は8 ずつ増えるきまりを使って九九を構成することができる。 【知・技】	7
	3 8 の段の続き（チャレンジ問題）に挑戦する。 ・ 8×10 は、 【まえたし作戦】 をして $72 + 8 = 80$ 。 ・ 8×10 は、 【いれかえ作戦】 をして 10×8 で、 【とびとび作戦】 をつかって80。 ・ 8×11 も、 【まえたし作戦】 で、 $80 + 8 = 88$ で簡単。	○ 自分の選択・決定した作戦を使いこなせるようになるために、チャレンジ問題を設定する。 【場面】	10
終末	4 本時学習を振り返って、タブレットにまとめる。(ログ) ○ 自分の学びをつないで、本時をまとめる。 ・ 8 の段も答えが8 ずつ増えるきまりを使って簡単にできた。 ・ 交換したり分けたりするきまりも使えるようになりたい。	○ かけ算のよさを実感するために、自分が選択した作戦から振り返りを書かせる。 【自分】(ICT)	3